

取扱説明書

型式番号

SDH1200J

●両面遠赤外線ヒーター ●1200W ●オフタイマー機能付 ●リモコン付

この度は、デロンギヒーターをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。お求めの製品を正しく安全に使用していただくため、ご使用前に、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。また、お読みの後は、保証書と共に大切に保管してください。



Made in China

もくじ

・本製品の特長	1
・安全上のご注意	2～6
・各部の名称とはたらき	7～8
・リモコンの準備	9
・暖房の設定方法	10
・電力レベルと暖房面について	10
・使用手順	11
・オフタイマーの設定	12
・知っておいていただきたいこと	13
・ヒーターの上手な使い方	13
・これは故障ではありません	13
・お手入れ／保管のしかた	14
・デロンギ・エコカバーの使い方	14
・故障かな？	15～16
・真心点検について	17
・アフターサービス	17
・仕様	18

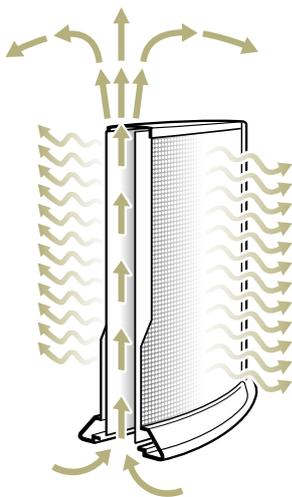
本製品の特長

両面のマイカヒーターが 素早くお部屋を暖めます。

電源を入れるとすぐに暖房が始まる即暖型のヒーターです。即暖性の高いマイカヒーターが前・後両面にあり、広範囲を素早く暖めます。また、離れたところから操作できるリモコンと見やすいLCDディスプレイを採用し、簡単に快適な操作性を実現しています。

輻射熱と自然対流で 効率良くお部屋を暖めます。

面状のヒーターから得られる輻射熱と、ヒーター中央を通過して上部へ出て行く自然対流による暖気のダブル効果で、効率良くお部屋を暖めます。



クリーン&エコロジー

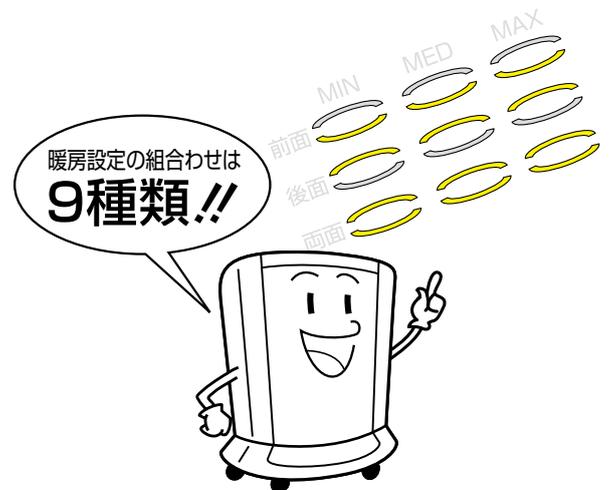
- 燃焼型ではなく、温風も出さないなので、室内の空気をきれいなまま保てます。また、換気の心配もありません。
- ホコリや花粉、ペットの毛をまきあげることもないので、アレルギーにお困りの方にも安心です。
- ご不用になったヒーターを回収・再資源化いたします。
- J-Moss グリーンマーク対応。

電子サーモスタットが 暖めすぎを防ぎ、 電気代を節約します。

精度±1℃の電子サーモスタットが、ヒーター周辺の温度を細かく制御して無駄な暖めすぎを防ぎ、エネルギーや電気代を節約します。

電力レベルを 200Wから1200Wまで 細かく設定できます。

片面で200W、400W、600Wの3段階の切替えができる電力レベルと暖房面切替えを組み合わせ、9種類の設定が可能です。→10ページ



安全&安心

- 火を使わず、火傷の危険性が低いので、小さなお子様のいるご家庭でも安心してお使いいただけます。(平均表面温度 約55℃)
- 転倒時電源自動遮断装置、異常温度過昇防止装置、サーモスタットの三重の安全構造。

安全上のご注意 各注意事項を、必ずお守りください。

1. ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
2. ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への損害を未然に防止するものです。
3. 注意事項は、誤った取り扱いで生じることが想定される内容を、その危害や損害および切迫の度合いにより、「危険」「警告」「注意」の三つに分け、明示しています。

⚠️ 危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容を示しています。

⚠️ 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠️ 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

4. 各注意事項には、「注意」「禁止」「強制または指示」を促す絵表示が付いています。



：発火注意



：感電注意



：高温注意



：禁止行為



：分解禁止



：強制／指示



：電源プラグをコンセントから抜く

電源について

⚠️ 警告

- 電源は、家庭用交流100V/50/60Hzをご使用ください。
- 電源は、「15A 125V」と記されている壁面のコンセントから直接お取りください。

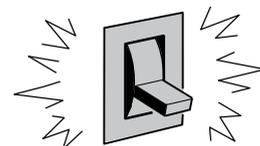
15A 125V



⚠️ 注意

- ヒーターを運転中にブレーカー（分電盤内の回路遮断器）が落ちる場合には、お近くの電力会社にご相談ください。

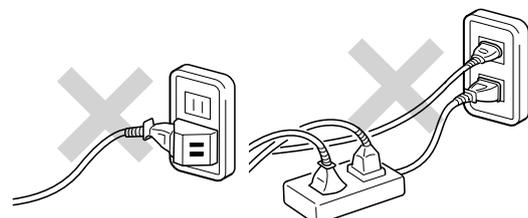
※詳しくは、13ページ「知っておいていただきたいこと」を参照してください。



コンセントについて

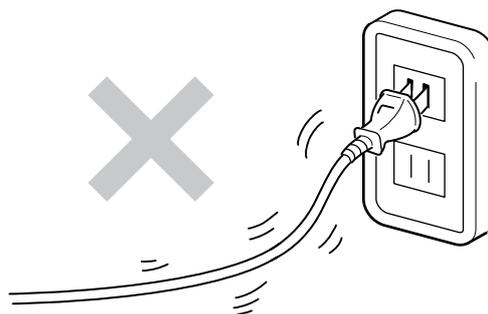
⚠️ 警告

- 延長コードやテーブルタップ、ソケットなどは、絶対に使用しないでください。
- コンセントは本製品だけ（単独）で使用し、差込み口が2つある場合は片方の差込み口を空けたままでご使用ください。



- 取付けの悪い（ガタツキのある）コンセントや差込み口（刃受）のゆるいコンセントは、絶対に使用しないでください。

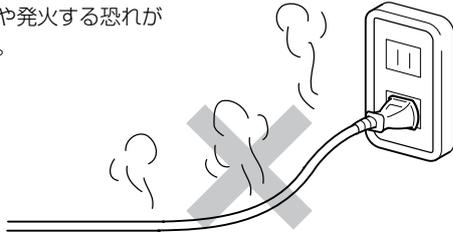
感電や発熱の恐れがあります。



警告

- ヒーターの運転中に、電源プラグ／電源コードが異常に熱くなる場合は、直ちに主電源スイッチで電源を切り（＝運転中止）、お求めの販売店または弊社サービスセンター（17ページ）に、電源プラグ／電源コードの交換を依頼してください。

ショートや発火する恐れがあります。



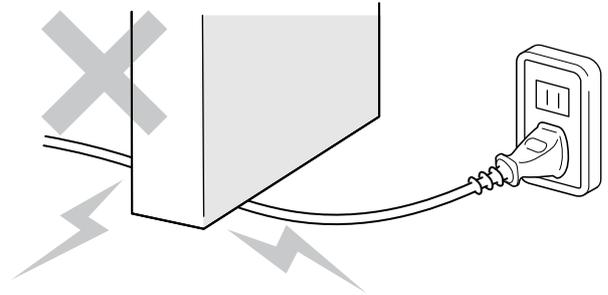
- 傷付いたり、変形・破損している電源プラグ／電源コードは、絶対に使用しないでください。

感電やショート、発火する恐れがあります。必ず、お求めの販売店または弊社サービスセンターに、交換を依頼してください。



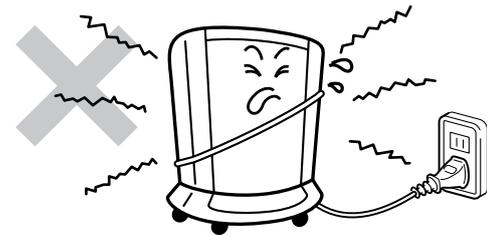
- 電源プラグ／電源コードは、大切に扱ってください。無理に曲げたり、物を載せたり、傷をつけないでください。

感電やショート、発火などの原因になります。



- ヒーターの運転中は、電源コードが本体に触れないようにしてください。

熱で電源コードが傷み、感電やショートの原因になります。



注意

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、必ず電源プラグを持って抜いてください。

電源コードを無理に引っ張ると、破損する恐れがあります。



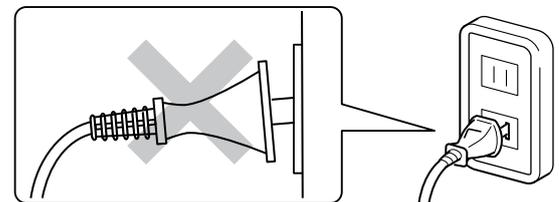
- 濡れた手で、電源プラグの抜き差しをしないでください。

感電する恐れがあります。



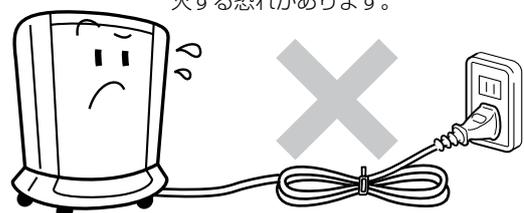
- 電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。

不完全な接続は、感電や発熱の恐れがあります。



- 運転の際は、電源コードをヒーター底部のコード収納から解き、余っても束ねないでください。

熱の逃げ場が無くなって高温になり、発火する恐れがあります。

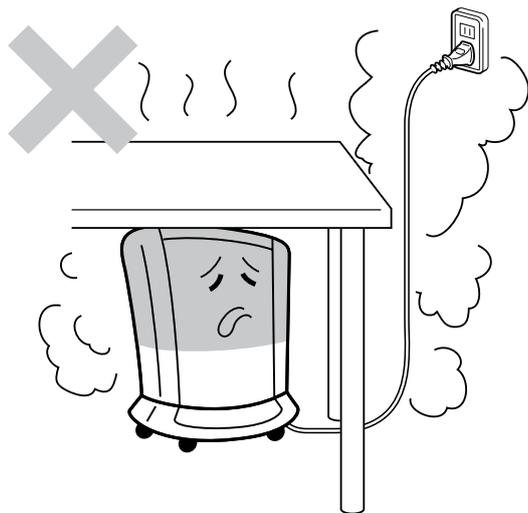


設置場所について

警告

- テーブルや机の下でのご使用は、お止めください。

ヒーターの上部をふさぐと、空気の対流ができず高温となり、火災やヤケド、故障などの原因になります。また、ヒーターの熱で電源コード／電源プラグやコンセントが変形・変質し、出火する恐れがあります。



- 電源をとるコンセントのすぐ下でのご使用は、お止めください。

暖気で電源コード／電源プラグが変形・変質し、故障などの原因となります。



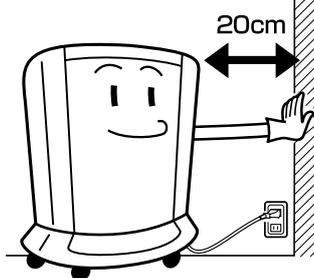
- 屋外や水／湿気の多い場所（部屋）でのご使用は、お止めください。

ショートや感電の恐れがあります。



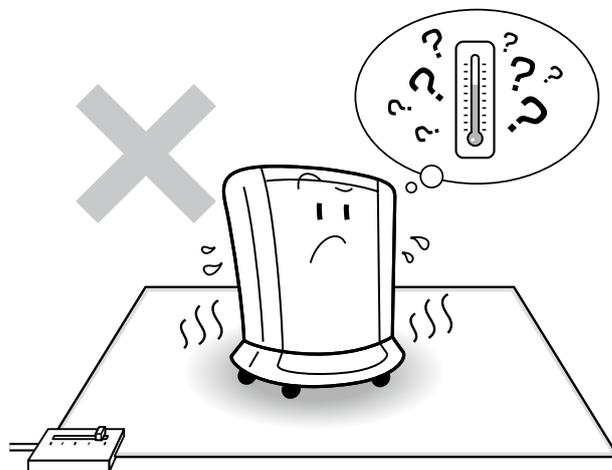
- 壁や電源をとるコンセント、カーテンなどからは、20cm以上離してください。

材質によっては、ヒーターの熱で変色／変質する恐れがあります。



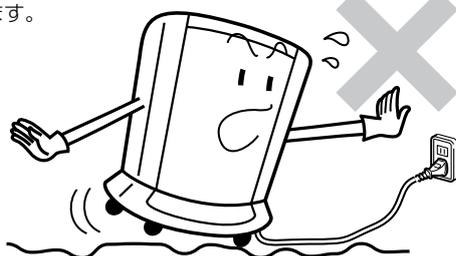
- ホットカーペット、床暖房の上では使用しないでください。

温度センサーが本体下部にあるため、温度センサーが誤作動を起こす恐れがあります。



- 毛足の長い絨毯や凸凹のある床は避け、平らな床に置いてください。

ヒーターが倒れるとケガや事故の恐れがあります。

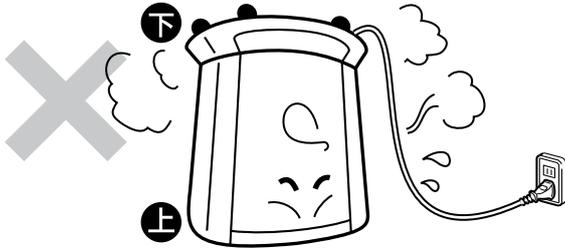


使用する際の注意

警告

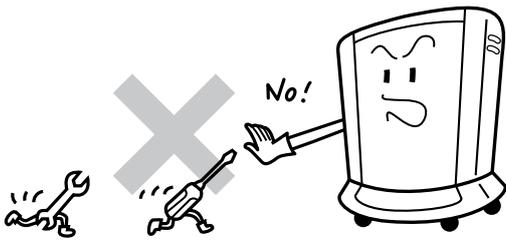
- 逆さまや横倒し、立てかけてのご使用は、絶対にお止めください。

火災や故障などの恐れがあり、危険です。



- 本製品を分解したり、改造することは、絶対にお止めください。

故障や発火の恐れがあります。



- 猫や犬など、ペットの暖房に使用しないでください。

ペットが本体や電源プラグ／電源コードなどを傷め、発火や故障の原因になります。



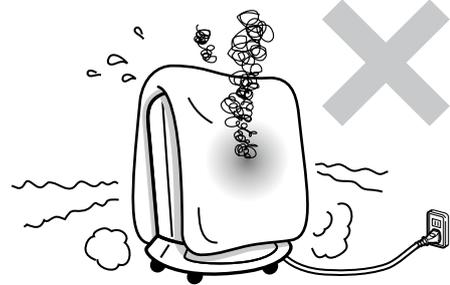
- ヒーターの移動は、必ず本体が冷えてから行ってください。

移動の際は、ヒーターの底部を両手で持って移動してください。(7ページ参照)



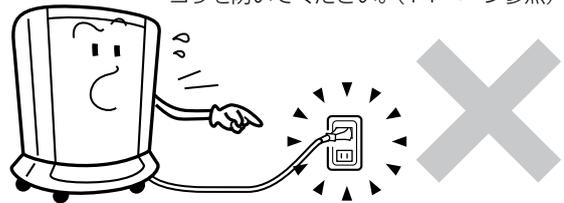
- 本体を覆うように布団や毛布などをかけたり、濡れたもの（洗濯物など）の乾燥に利用しないでください。

過熱により、火災や故障などの恐れがあります。



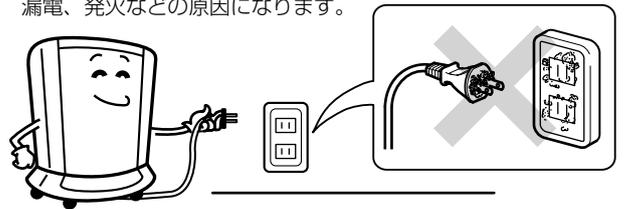
- 長期間使用しない場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

誤って、電源が入る恐れがあります。収納・保管する際はデロンギ・エコカバーでホコリを防いでください。(14ページ参照)



- 定期的に、電源プラグやコンセントに付着しているホコリやゴミを掃除機などで取り除いてください。

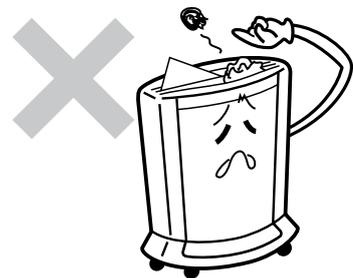
付着しているホコリやゴミが湿気を帯びると、ショートや漏電、発火などの原因になります。



注意

- ヒーターのすき間などに、異物を入れないでください。

発火や故障の原因になります。

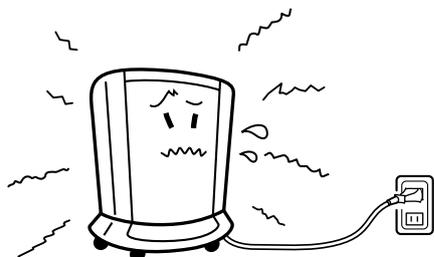


運転中の注意

警告

- 万一、異常が生じた場合は、直ちに電源を切り（＝運転停止）、電源プラグをコンセントから抜いてください。

異常な状態で使い続けると、事故や故障につながります。必ず、お求めの販売店または弊社サービスセンター（17ページ参照）までご連絡ください。



- 本体や操作部（電源ボタン、電力切り替えボタン）に、水やジュース（液体）などをこぼさないでください。

万一、こぼしてしまった場合は、ショートや感電などの恐れがありますので、直ちに電源を切り、運転を停止します。その後、お求めの販売店または弊社サービスセンター（17ページ参照）までご連絡ください。



注意

- 運転中および停止直後は、本体に触れないでください。

表面温度は、最高で約 80～90℃になりますので触れないでください。ヤケドをする恐れがあります。



- 小さなお子様が近くにいるときは、必ず付き添ってください。

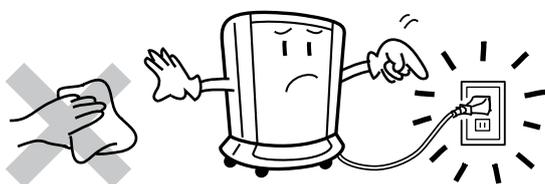
運転中および運転していないときもお子様はヒーターのそばにいるときは大人の方が付き添ってください。



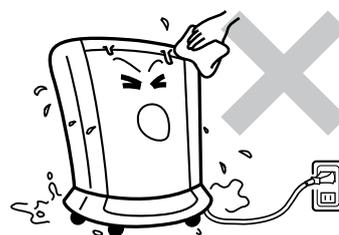
お手入れについて

警告

- 必ず電源プラグをコンセントから抜き、ヒーターが冷えてから行なってください。



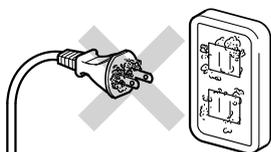
- 絶対に、水に浸したり、水洗いをしないでください。



注意

- ヒーターと壁や床のすき間、電源プラグやコンセントに付着しているホコリやゴミは、定期的に取り除いてください。

ホコリやゴミが湿気を帯びると、ショートや漏電、発火などの原因になります。



- 洗剤やクレンザー、シンナー、金たわしなどは、使用しないでください。



各部の名称とはたらき

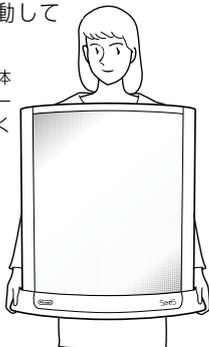
※リモコン表示部、本体表示部は、説明のためにすべてを表示しています。操作時は、これらが同時に表示されることはありません。

本体

ヒーターを移動するときは

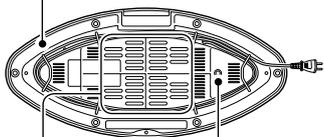
ヒーター底部に両脇から手を入れ、底部を持ち上げて移動してください。

※電源を切り、本体が冷えてからヒーターを移動してください。



ヒーター底部

●電源コードを収納するときはヒーターの底部を上にして仰向けにし、図のように巻きつけてください。



●温度センサー 周辺温度を測り、電子サーモスタットで設定温度*を保ちます。
●転倒時電源自動遮断装置 本体が転倒した場合、自動的に電源が切れます。

*設定する温度は、あくまで“目安”です。暖房するお部屋(の環境)により、温度を調節してください。

●放熱面(電熱部)

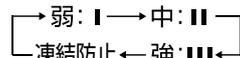
面状のヒーター(前面、後面)をマイカ(雲母)で絶縁し、効率よく放熱を行い室内を暖めます。

●電源ボタン

暖房運転の開始/停止をします。

●MODE 電力切り替えボタン

リモコンを使用しないときに使用します。ボタンを押すごとに、



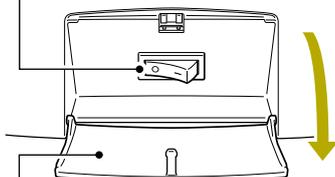
と電力レベルが切り替わります。

※このボタンで電力切り替えを行った場合、設定温度は22℃、暖房面は両面になります。

後面

●主電源スイッチ

オフ時:すべての電源が切れます。(オフ:○、オン:—)



●主電源スイッチカバー

主電源スイッチカバーの中央を押して開けます。

※お子様がさわらないよう、操作後は必ず閉めてください。

●電源コード

●電源プラグ

本体表示部

●時計マーク

オフタイマーが設定されているときに点灯します。

●凍結防止マーク

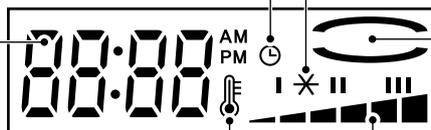
凍結防止機能に設定されているときに点灯します。→次頁参照

●時刻・温度表示

時刻、または設定温度を表示します。

●温度計マーク

設定温度が表示されているときのみ表示されます。



●暖房面表示

ヒーターがオンになっている面を表示します。→10ページ参照

●電力レベル表示

3段階の電力レベルを表示します。表示は2個ずつ切り換わります。→10ページ参照

付属品: リモコン、デロンギ・エコカバー、リモコン用乾電池(単4形×2)

リモコン

凍結防止マーク

凍結防止機能に設定されているときに点灯します。

凍結防止機能

リモコンの*ボタンでオン/オフを設定します。ヒーターの周辺温度が7℃以下になった場合に自動的に運転を開始し、ヒーターの凍結を防止します。

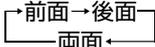
送信表示

リモコンでの操作情報を本体に送信するときに点灯します。

オフタイマー表示

オフタイマーが設定されているときに点灯します。

暖房面切り替えボタン

ボタンを押すごとに、
と切り替わります。

OKボタン

現在時刻とオフタイマー時刻設定を確定するときに押します。

12/24h ボタン

時刻の表示を12時間制 (AM、PM)、または24時間制に切り替えます。

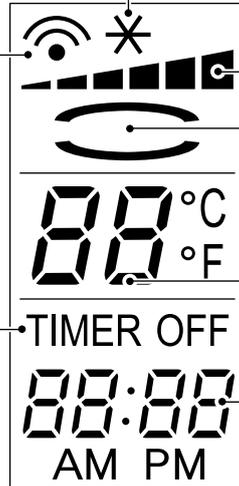
* ボタン

凍結防止機能をオン/オフします。

STAND-BYボタン

暖房運転を停止します。

リモコン表示部



電力レベル表示

3段階の電力レベルを表示します。

弱: I	
中: II	
強: III	

暖房面表示

ヒーターがオンになっている面を表示します。→10ページ参照

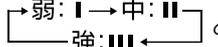
温度表示

設定温度を表示します。
 リモコンの°F/°Cボタンで°F(華氏)/°C(摂氏)を切り替えることができます。

時刻表示

現在時刻が表示されます。また、オフタイマー時刻設定時に使用します。

電力レベル切り替えボタン

ボタンを押すごとに、
と切り替わります。
 →10ページ参照

CANCEL ボタン

リモコンの現在時刻設定時にCANCELボタンを押すと、設定中の時刻が0:00に戻ります。

TIMERボタン

オフタイマーの時刻設定をするときに使用します。→12ページ参照

⌚ボタン

現在時刻を設定するときに使用します。→9ページ参照

°F/°Cボタン

温度表示を°F(華氏)、または°C(摂氏)に切り替えます。

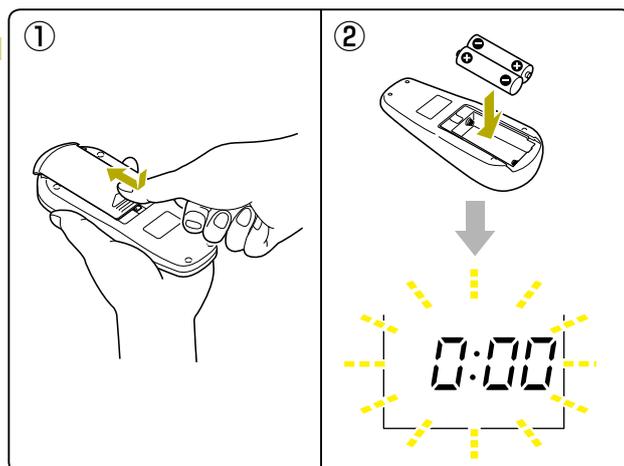
+/-ボタン

時刻や温度を設定するときに使用します。

リモコンの準備

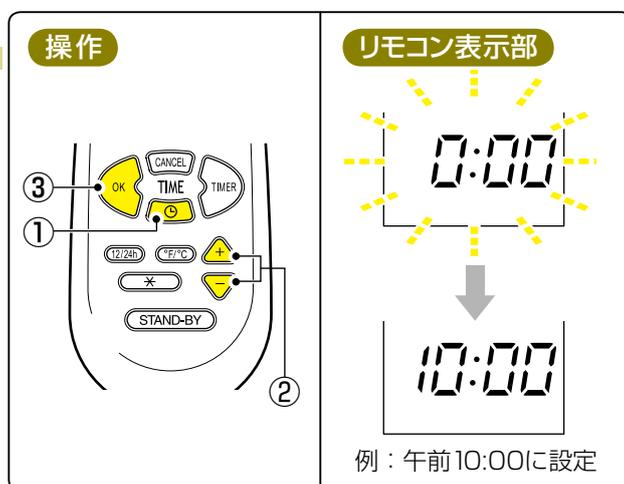
1 リモコンに乾電池を入れる

- ① リモコン裏面の電池カバーをはずす。
- ② **+**、**-**を確認して乾電池(単4形2本)を入れる。
リモコンの時刻表示が点滅します。
- ③ 電池カバーを取り付ける。
下の手順②に進んでください。



2 現在時刻を設定する

- ① リモコンの**⓪**ボタンを1回押す。
時刻表示が点滅します。
- ② **+**/**-**ボタンを押して時刻を合わせる。
1回押すごとに1分進み/戻り、5秒以上長押しすると10分単位で進み/戻ります。
- ③ **OK**ボタンを押す。
時刻が設定されます。



リモコンを操作するときは

- リモコンは、本体前面に向けて操作してください。
- 本体は、リモコンからの信号を受信すると受信音が鳴ります。

受信できる範囲

※上から見た図



乾電池について

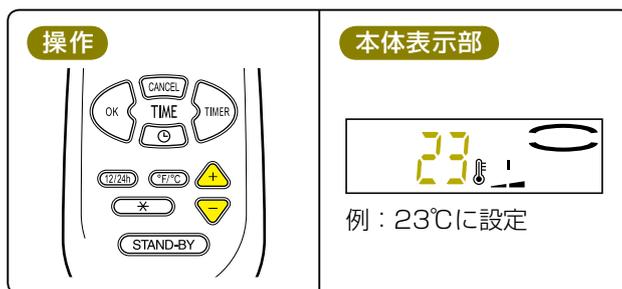
- 外装シールが(一部または全体に関わりなく)剥がれている乾電池や破損している乾電池を使用すると、液漏れ、発熱、破裂の原因となり危険ですので、絶対に使用しないでください。
- 送信がうまくいかなくなったり、リモコンの表示が薄くなったときは、早めに乾電池を交換してください。
- 乾電池を交換するときは、新しい同じ種類の乾電池を2本使用してください。
- 液漏れ防止のため、長期間(1ヶ月以上)使用しないときは、乾電池を取り出してください。

暖房の設定方法

温度を設定する

リモコンを本体前面に向け、+/- ボタンを押して温度を設定する。

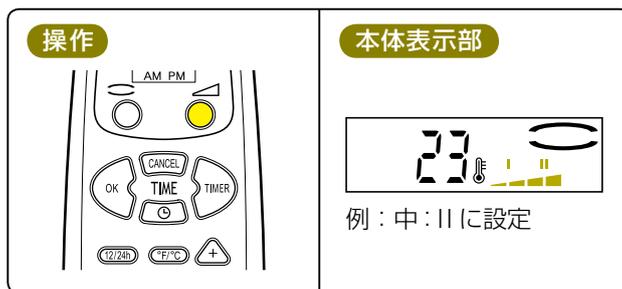
温度は、16℃～32℃の範囲、1℃単位で設定できます。本体下部の温度センサーが周辺温度を感知し、温度設定後はヒーターの運転を自動制御します。



電力レベルを設定する

リモコンを本体前面に向け、電力レベル切り替えボタンを押して電力レベルを設定する。

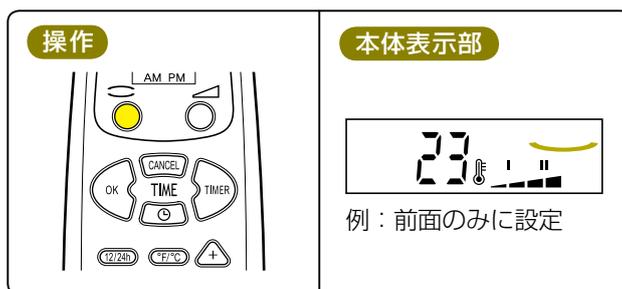
ボタンを押すごとに、 と切り替わります。



暖房面を設定する

リモコンを本体前面に向け、暖房面切り替えボタンを押して暖房面を設定する。

ボタンを押すごとに、 と切り替わります。



電力レベルと暖房面について

片面で3段階（200W、400W、600W）の切り替えができ、暖房面との組み合わせにより9種類の設定が可能です。

暖房面	電力		
	弱：I	中：II	強：III
前面	200W	400W	600W
後面	200W	400W	600W
両面	400W	800W	1200W

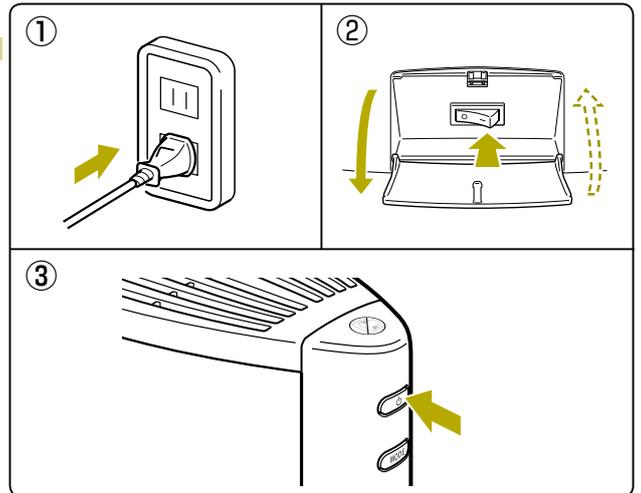
使用手順

1 本体の電源を入れる

- ① 電源プラグをコンセントにしっかり差し込む。

⊘ 延長コードは絶対に使用しないでください。

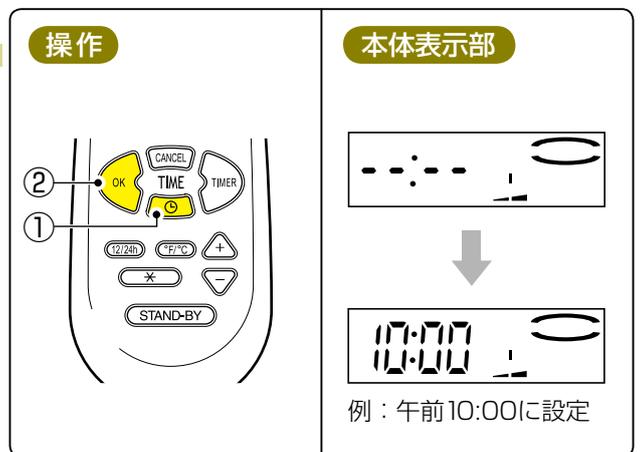
- ② 本体後面の主電源スイッチカバーを押して開け、主電源スイッチ右側（一側）を押す。ピーピーピーと音が鳴り、本体表示部が点灯します。その後、カバーを閉めます。
- ③ 本体側面の電源ボタンを押す。ピピッと鳴り、運転が開始されます。



2 本体の現在時刻を設定する

※あらかじめ、リモコンの現在時刻を設定しておく必要があります。→9ページ参照

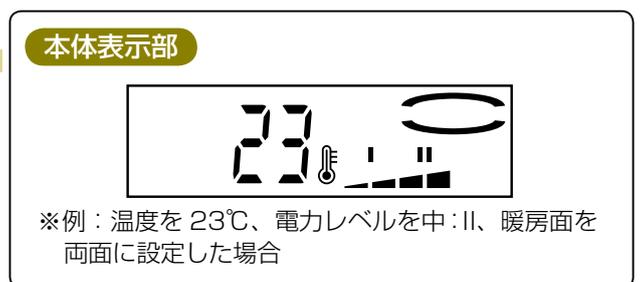
- ① ④ボタンを押す。
リモコンの時刻表示が点滅します。
- ② リモコンを本体前面に向け、OK ボタンを押す。
時刻の情報と一緒に、リモコンの設定情報（温度、電力レベル、暖房面）が本体に送信されます。



3 お好みの設定をする

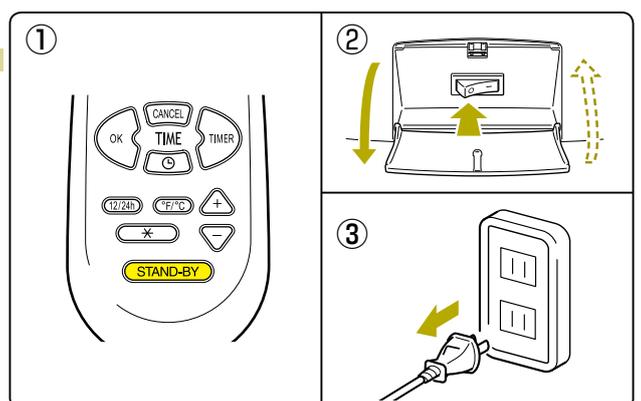
お好みに応じて、温度、電力レベル、暖房面を選択する。

設定方法は10ページをご覧ください。



4 本体の電源を切る

- ① リモコンの STAND-BY ボタン、または本体側面の電源ボタンを押す。
ピーと鳴り、暖房運転が停止します。
- ② 本体後面の主電源スイッチカバーを押して開け、主電源スイッチ左側（○側）を押す。
電源が切れます。その後、カバーを閉めます。
- ③ 電源プラグをコンセントから抜く。



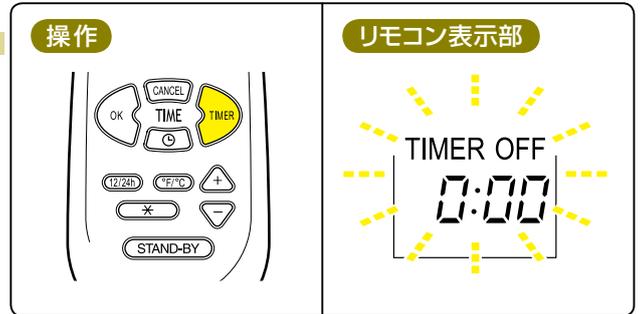
オフタイマーの設定

■オフタイマーを設定する

リモコンを使って、自動的に暖房運転が停止する時刻を設定します。※事前に現在時刻の設定が必要です。→9ページ参照

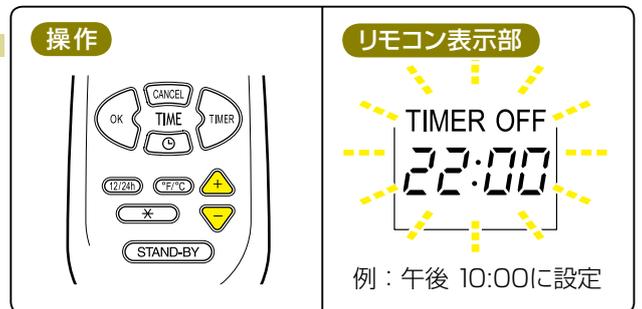
1 リモコンのTIMER ボタンを押す。

TIMER OFF と時刻表示が点滅します。



2 + / - ボタンを押して暖房停止時刻を設定する。

1回押すごとに1分進み/戻り、5秒以上長押しすると10分単位で進み/戻ります。



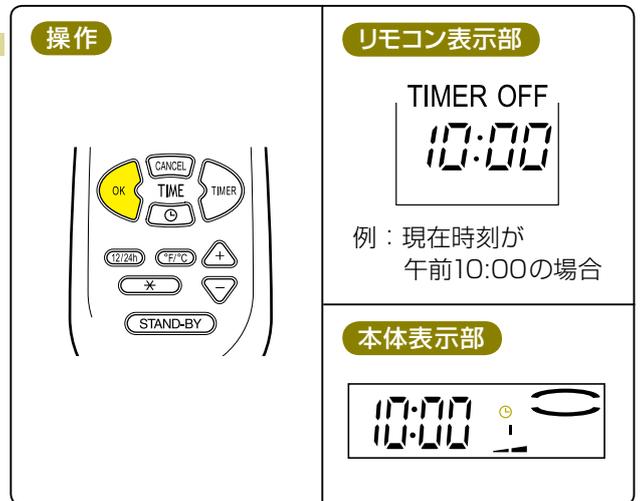
3 リモコンを本体前面に向け、OK ボタンを押す。

オフタイマーが設定されます。また TIMER OFF と時刻表示の点滅が止まり、本体表示部に時計マークが表示されます。

オフタイマーで設定した時刻になると、自動的に暖房運転が停止します。

本体表示部 時計表示のみになります。

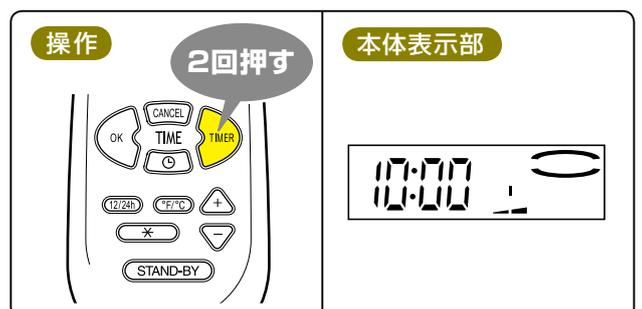
リモコン表示部 TIMER OFF が消えます。



■オフタイマーをキャンセルする

オフタイマーが設定されている状態のときに、リモコンを本体前面に向けTIMER ボタンを2回押す。

オフタイマーが解除され、リモコンのTIMER OFF、本体表示部の時計マークが消えます。



知っておいていただきたいこと

定格電流について

本製品の定格電流は、12A（アンペア）です。ご家庭内で使用中の他の電気器具（複数）の定格電流との合計値が、**契約電力**（電気料金の請求書「基本契約欄」に00Aと記載）を**超えていない**

かどうか確認してください。なお、定格電流の算出方法は、以下の通りです。

$$\text{定格電流 (A)} = \frac{\text{消費電力 (W)}}{100(\text{V: 電圧})}$$

ブレーカーについて

ブレーカー（分電盤内にある回路遮断器）は、その回路で電気を使い過ぎた時や何らかの原因で瞬時に大電流が流れた場合に自動的に電気を断ち、回路を守ります。**契約電力が不足している**

場合や、足りていても、その回路の容量を超えて複数の電気器具を使用すれば、**ブレーカーが動き（＝落ち）**ます。
※契約電力が不足している場合には、電力会社に増量を依頼してください。

電気代(目安)について

1時間当りの電気代（目安）は、暖房する部屋の諸条件（断熱および密閉性能など）により異なってきますが、おおよそ右記の通りです。（1kW/h = 22円として算出した場合）

電力レベル最大(両面): 1200W	部屋が設定温度に達した後 サーモスタットで自動制御 (ヒーター稼働率:60%の場合)
約26円/時間	約16円/時間

ヒーターの上手な使い方

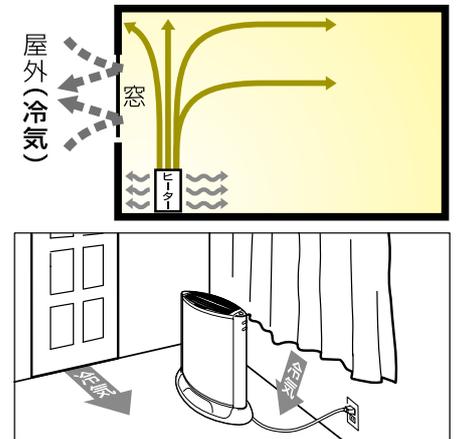
節電対策

電子サーモスタットと暖房面の切り替え、オフタイマーを上手に利用することで、ムダな暖めすぎを防ぎます。

暖房面の切り替えについては10ページを、オフタイマーについては12ページを参照してください。

ダウンドラフト対策：効果的な設置場所

室内で、特に冷気のダウンドラフト（冷気の侵入）が発生しやすい場所＝窓の下や外気に触れている壁際などに設置してください。ヒーターの暖気による“エアカーテン”で、ダウンドラフトの発生を抑えます。また、窓に厚手のカーテンをしたり、ドアの開閉頻度を減らすなどの工夫をすることで、より効果的な暖房が得られます。（注：ヒーターにカーテンが覆いかぶさらないようにしてください。）



これは故障ではありません

初期使用時の臭いについて

最初は、新製品特有の臭いを感じる場合があります。これは、本体の耐熱塗装が熱になじむまでのことで、機能や安全性に問題はありません。数日ご使用いただきますと、臭いは次第におさまります。

暖房運転中にカチッカチッと音がする

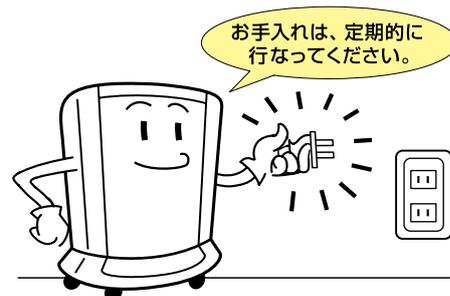
暖房運転中、わずかにカチッカチッと音がします。これは設定温度を一定に保つよう、自動的に電源をON/OFFする際のもので、異常ではありません。

お手入れ／保管のしかた

 お手入れや保管をする場合には、必ず事前に電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷えてから行なってください。

 水洗いできません。また、洗剤やクレンザー、シンナーやベンジン、金たわしなどは、使用しないでください。

 保管する際は、必ず事前にお手入れをし、逆立てたり、横倒しにしたり、上に物を置かないでください。



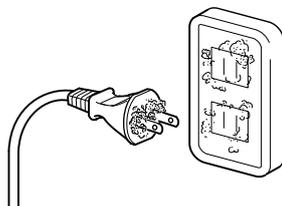
●本体は乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、布にお湯を含ませ、固く絞ってから拭いてください。



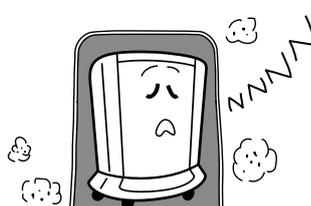
●本体および壁と床とのすき間に溜っているゴミやホコリは、掃除機などで必ず取り除いてください。



●壁面コンセント(刃受)および電源プラグ(栓刃)に付着しているゴミやホコリは、掃除機などで必ず取り除いてください。



●収納／保管する際は、付属のデロンギ・エコカバーを使用してホコリなどを防ぎ、乾燥した場所に置いてください。



デロンギ・エコカバーの使い方

1) ホコリよけのカバーとして: シーズンオフには、収納／保管用カバーとしてご利用ください。

2) ご不用時／回収(再資源化)ご依頼時の梱包材として: デロンギヒーターには、環境に有害な原材料・重金属が含まれておりません。

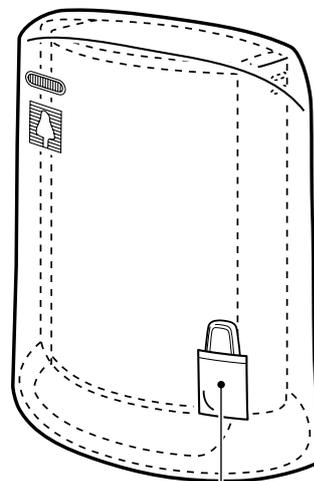


弊社では素材ごとに分別し、再資源化を行っております。

下記の要領に従い、弊社サービスセンター(17ページ参照)までお送りください。

送料について▶ 再資源化の費用は弊社が負担いたしますが、送料はお客様のご負担(元払い)となりますので、予めご了承ください。

梱包について▶ ご不用になったデロンギヒーターは、付属のデロンギ・エコカバーに包んでお送りください。なお、デロンギ・エコカバー以外のものでも梱包／返送される場合は、再資源化の費用が有料になることがあります。また、修理や点検と区別するため、外箱または送り状に、必ず「再資源化」と明記してください。



リモコン収納

※デロンギ・エコカバーは、無漂白の綿100%でできています。

この製品は J-Moss グリーンマーク対応製品です。

J-Moss とは、「電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示」を規定した JIS 規格 (JIS C 0950) です。

この製品は、鉛及びその化合物、水銀及びその化合物、六価クロム化合物、カドミウム及びその化合物、ポリブロモビフェニル (PBB)、ポリブロモジフェニルエーテル (PBDE) の含有率が、いずれも含有率基準値以下であり、環境に配慮して製造されました。



J-Moss グリーンマーク

故障かな？ ～ 修理を依頼される前に以下の点をお調べください。

使用中に異常が生じた場合は、直ちに主電源スイッチで電源を切り（＝運転を停止し）、以下の点をお調べください。
 なお、修理のご依頼は17ページ「アフターサービス」を参照してください。

症 状 (状態)	予想される原因	対処のしかた
主電源スイッチ右側および、電源ボタンを押しても、本体表示部に何も表示されない	電源プラグが、コンセントに差し込まれていない	電源プラグ（栓刃）を、根元までしっかりとコンセントに差し込みます。
	不安定な場所にヒーターを設置している	本体底部に転倒時電源自動遮断装置が付いていますので、毛足の長い絨毯や凹凸のある床は避け、平らな床に置いてください。
	主電源スイッチ、電源ボタン、あるいは本体表示部が故障している可能性あり	お求めの販売店または弊社サービスセンター（17ページ）にご連絡ください。
リモコンで暖房設定をし、運転を開始しても、ヒーターが暖かにならない	設定温度がお部屋の温度より低い	+/-ボタンで今より設定温度を高くしてください。
	床暖房またはホットカーペットの上で使用している	温度センサー（周辺温度の感知センサー）が本体底部にありますので、床暖房およびホットカーペットの上でのご使用は避けてください。
リモコンで設定した情報が本体に設定されない（ピピッと鳴らない）	リモコン電波の送信可能距離および範囲を超えている	リモコンを本体前面に向け、受信できる距離まで近づいてから操作してください。
	リモコンの乾電池の寿命が来ている	新しい単4形の乾電池に交換してください。
	リモコン、あるいは本体受信部が故障している可能性あり	お求めの販売店または弊社サービスセンター（17ページ）にご連絡ください。
リモコンで暖房運転が開始されない		リモコンによる誤作動防止のため、主電源スイッチ右側および電源ボタンを押さない限り、リモコンでの操作はできません。オフタイマーなどを使用し、暖房運転が停止している場合は、再度電源ボタンを押し、運転を開始します。その後、リモコンで各種設定を行ってください。
使用中、電源プラグ／電源コードが異常に熱くなる (目安：強運転時で約40℃)	延長コードを使ったり、タコ足配線をしている	延長コードやタコ足配線を止め、電源プラグを定格15Aの壁面コンセントに直接差し込みます。
	電源プラグ（栓刃）を、根元までコンセントに差し込んでいない	電源プラグ（栓刃）を、根元までしっかりと差し込みます。不完全な接続は、感電や発熱の恐れがあります。
	差込み口（刃受）が2つあるコンセントで、両方の差込み口を使用している	差込み口（刃受）が2つある壁面コンセントを使用する際は、必ず、片方の差込み口を空けておきます。
	コンセントがガタついたり、差込み口（刃受）がゆるい	近くの電気店に、コンセントの修理を依頼してください。コンセントが老朽化している場合があります。

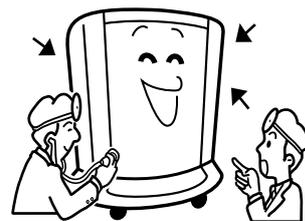
症 状 (状態)	予想される原因	対処のしかた
使用中、電源プラグ／電源コードが異常に熱くなる (目安：強運転時で約 40℃)	電源プラグ／電源コードが傷付いたり、変形・破損している	お求めの販売店または弊社サービスセンター(17 ページ)に、修理・交換を依頼してください。
	電源コードの上に物を置いたり、無理に曲げている	電気の流れる道が半断状態になると、ショートや発火の恐れがあるので、絶対に止めてください。
	電源コードを本体底部のコード収納から解いていない。束ねた状態で使用している	余ったコードも、必ず伸ばした状態で使用してください。束ねると、熱の逃げ場を失って高温になり、発火の恐れがあります。
	電源プラグやコンセントに、ゴミやホコリが付着している	定期的に、付着しているゴミやホコリを取り除いてください。
部屋が暖まらない ※暖房する部屋の諸条件(断熱材や位置など)によって異なります	設定温度がお部屋の温度より低い	+/- ボタンで今より設定温度を高くしてください。
	床暖房またはホットカーペットの上で使用している	温度センサー(周辺温度の感知センサー)が本体底部にありますので、床暖房およびホットカーペットの上でのご使用は避けてください。
	電力レベルが低い	電力レベル切り替えボタンを使用し、電力レベルを最大にしてください。
	暖房面を片面しか使用していない	暖房面切り替えボタンを使用し、暖房面を両面にしてください。
	ヒーターを、ドア(出入口)付近に置いて使用している	ヒーターの暖気が逃げてしまうので、ドア(出入口)から離れた場所に置いて使用してください。また、窓近くで発生するダウンドラフト(冷気の侵入)を防ぐには、窓下付近に置いて使用するのが効果的です。
オフタイマーで設定した時刻になっても、暖房運転が停止しない	オフタイマーの設定を本体側が受信していない	本体表示部に時計マークが点灯していることを確認してください。
	時計表示の 12 時間制と 24 時間制を間違えている	12/24h ボタンで 12 時間制、24 時間制を切り替えてください。12 時間制の場合には AM、PM が表示されます。

真心点検について



長年ご使用のヒーターは、点検をお勧めします。

保証期間（3年）が過ぎて、少しでも気になる点がございましたら、安全のために専門技術者による点検（お預かり）をお勧めします。点検の依頼および料金等につきましては、弊社サービスセンター（下記参照）までお問い合わせください。



アフターサービス

- 使用中に異常（★）が生じた場合は、直ちに主電源スイッチで電源を切り（＝運転停止）、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、15～16ページ「故障かな？」で調べても正常に機能しない場合は、お求めの販売店または弊社サービスセンター（下記参照）にご相談ください。

＜★以下のような場合には、点検および修理が必要です＞

- ・使用中、電源コードおよび電源プラグ、コンセントが異常に熱くなる
- ・電源コード、電源プラグが変形／破損している
- ・本体や操作部（電源ボタン、電力切り替えボタン）に、水やジュース（液体）などをこぼした
- ・本体に、強い衝撃を与えた
- ・取扱説明書どおりに使用しているのに、正常に機能しない

- 万一故障した場合は、保証書に記載されている販売店に①お求めの時期 ②製品名称と型式番号③故障の状況——を連絡のうえ、修理を依頼してください。

※宅配便等を利用して弊社サービスセンター（下記参照）に直送される場合は、必ず故障の状況を記したメモを同封くださるようお願いいたします。

- 保証期間中（3年）は、保証書に記載されているものについては無償で修理いたします。ただし、使用上の注意を無視しての故障や規格外に改造したものなどは、その限りではありません。また、保証期間を過ぎたものについては、有償で修理いたします。

以上、アフターサービスについてご不明の点がございましたら、お求めの販売店または弊社サービスセンター（下記参照）までお問い合わせください。

デロンギ・ジャパン サービスセンター（受付時間▶土、日、祝日を除く毎日 9:30～18:00）

コールセンター

修理について Tel.0120-804-280

Tel.0120-692-885

お問い合わせ Tel.0120-064-300

Tel.0120-692-880

／ Fax.045-450-3291

●横浜：〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-9 安田倉庫(株)内4号ビル

●大阪：〒564-0044 大阪府吹田市南金田2-21-25

ホームページでのお問い合わせ (URL) —— <http://www.delonghi.co.jp>



De'Longhi Forum

イタリアのライフスタイル情報満載! デロンギフォーラム無料会員募集中!

詳しくは <http://www.delonghiforum.jp>

 **デロンギ・ジャパン株式会社**

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-5-6 第3大東ビル Tel. 03-5256-6321(代)